

平成
16年度

特別会計 決算認定

土地区画整理事業

歳入 3,333万 1 千円
歳出 1,983万 2 千円

本事業は未整備4区画、22年度事業完成を決定しているが、補償断面整備で難航し、進展していない。地価下落の為保留地処分が厳しい状況で早期の処分策を講じるよう求めた。



国民健康保険

歳入 26億5,506万 1 千円
歳出 27億0,464万 2 千円



本年度の決算額は、差引額4,958万1千円の赤字となった。

歳入不足額は翌年度歳入繰入充用処理されている。

収支残額が赤字になったのは医療給付・老人保健拠出金が大幅に増加していることが大きな要因である。

不納欠損額998万5,540円は一般医療分198件で、転居、居住地不明、納税意識の低さ等が要因となっている。

公共下水道事業

歳入 6億4,737万 6 千円
歳出 6億4,540万 5 千円

本事業は平成12年度より開始された。計画面積は695haで16年度で46.6%が執行されている。今後の事業の進捗に伴う町債の増加に対する対策としての使用可能世帯の接続普及推進の強化、啓発強化するよう求めた。



老人保健

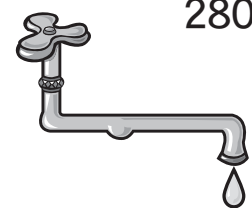
歳入 18億4,916万 7 千円
歳出 18億4,065万 2 千円



不用額が2,960万円発生したが、これは当初見込みより実績が伴わなかった為、今後伸び続けると予想される医療給付費に関して、住民検診・健康指導事業等を活用し、各課連携による健康意識の啓発を図り医療費の抑制、多受診等、厳密なレセプト点検に努めてもらうよう要望した。

水道事業

収益的収入 8億7,400万 6 千円
収益的支出 8億4,600万 3 千円
収支差引当期純利益
280万 2 千円



資本的収入0に対する資本的支出不足額8,240万3千円は、過年度分損益勘定留保金で補てんされている。

建設改良事業は町道整備と並行して行われ、老朽管改良布設は年次的に行われている。消費税の内税について今後の町民の負担増にならないように求めた。

介護保険

歳入 12億3,206万 0 千円
歳出 12億2,622万 6 千円



第1号被保険者、保険料の徴収方法は特別徴収で全額収入済となっている。普通徴収の今年度分徴収率は80.1%で前年度より1.6ポイント上昇し、徴収努力は見受けられる。調定額が増加したことで、収入率は上昇しているが、未済額は952万1千円となっている。

このようなことから、滞納者に対する早期の徴収体制強化を要望した。